

形D4JL
D4JL-□□□□-□5N
D4JL-□□□□-□6N



0686726-4 H

EU適合宣言
オムロンは、形D4JL以下のEU指令要求に適合していることを宣言します。

安全上のご注意

警告表示の意味
危険
注意

危険
正しい取扱いをしなれば、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物が損害を受ける恐れがあります。

警告表示
正しい取扱いをしなれば、この危険のために、時に軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物が損害を受ける恐れがあります。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

危険
リリスキーをUNLOCK位置で使用すると、電磁ロック機能が弱くなり動作し続ける場合があります。

危険
スイッチが破損し、機械により動作し続ける場合があります。

危険
ロック強度を超える力を加えないでください。必ず本体以外の別のロック部材(止め金など)を設置する。

危険
配線ミス、設定ミス、スイッチの故障などにより安全機能が正常に動作せず、機械により動作し続ける場合があります。

電磁ロックセーフティ・ドアスイッチ
Guard Lock Safety-door Switch

取扱説明書
Manvel d' Instrvtions
Instruction Sheet
manuale d' Istruzioni
Bertriebsanleitung
manuale de Instrucciones

本体・操作キーの取付けについて(図3参照)

本体・操作キーの取付けにはM5ねじを用い、産金を使って適正締付トルクで堅固に取付けてください。

操作キーはキー挿入口のセンタに対して±0.8mm以内でセットしてください。

位置ずれ、傾きなどがあり、早期摩耗、破損などの原因となります。

操作キーを取付けの際、同封の取付補助ツールをキー挿入口にセットして、位置決め(挿入口センタ及びセットゾーン)にご利用ください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

取付補助ツールは操作キーの位置決め後は、スイッチ本体からはずしてください。

このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書では、この製品を使用する上で、必要な機能、性能、使用方法などの情報を記載しています。

この製品をご使用する際は、下記の点を守ってください。

・この製品は電気の知識を有する専門家が扱ってください。

・この取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解のうえ、正しくご使用ください。

・この取扱説明書はいつでも参照できるように大切に保管してください。

Thank you for purchasing this D4JL. This INSTRUCTION MANUAL described the information such as function, performance and how to use the product required for using the D4JL.

For using this product, please follow the precautions as shown in the following:

・ Ensure that this product is installed and operated by qualified personal having sufficient skills in mechanics and electro-technic.

・ Ensure that you understand this manual and that you use the product as described in this manual.

・ Keep this instruction manual close at hand and use it for reference during operation.

Original instruction
Declaration of Conformity
OMRON declares that D4JL is in conformity with the requirements of the following EU Directives and UK Legislations:

Machinery Directive 2006/42/EC, RoHS Directive 2011/65/EU
2008 No 1597 Machinery (Safety), 2012 No 3032 RoHS

SAFETY PRECAUTION
Definition of Precautionary Information

ANGER
Indicates an imminently hazardous situation which, if not avoided, is likely to result in serious injury or may result in death. Additionally there may be severe property damage.

CAUTION
Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in minor or moderate injury or in property damage.

Precautionary Information
Always verify the operation of the safety functions before starting the system. Do not so may result that the safety functions may not be performed as expected if wiring or settings are incorrect or the Switch have failed.

Always ensure that the release key is set to the "LOCK" position before starting the system. If the release key remain set to "UNLOCK", the electromagnetical lock function will not operate and the system may continue to operate, possibly resulting in injury or death.

Always monitor the solenoid NC contact (Terminal 41-42) in your safety circuit. Do not connect indicator devices (like LED) to safety circuit connected to terminal 41-42.

Do not apply force exceeding the specified maximum holding force. Doing so may damage the Switch lock mechanism and the system may continue to operate, possibly resulting in injury or death.

Do not insert another locking component (e.g., a stopper) in addition to the Switch, or use a warning measures or an indicator showing the controlled system is locked to avoid overloading the holding force in lock mode.

Do not dismount the operation key from the door intentionally and insert it to the switch with the door open. Machine may start operating and injury or death may be caused.

Do not use metal connector or conduit with the switch. The broken conduit hole may cause electrical shock hazard.

Precautions for Safe Use
Environment
1-1. Do not use the switch where explosive gas, ignitable gas, or any other harmful gasses may be present.

1-2. Do not use the switch in the oil and in the water. IP67(EN60947-5-1)
1-3. Though the switch body is protected from the ingress of dust or water, avoid the ingress of foreign substance through the key hole on the head.

2. Wiring
2-1. Connect the fuse to the switch in series to prevent it from short circuit damage. The value of the breaking current of the fuse must be increased to cover the rated current by 150 to 200%. When using the switch with EN rating, use 10A fuse, type gI or gG that complies with IEC 60269.

2-2. On the switching of general loads (230VAC/3A), do not operate two circuits or more at the same time. Otherwise, insulation performance may be degraded.
2-3. Keep the electrical load below the rated value.
2-4. Use a metallic connector which has a threaded portion of 9 mm length or less.
2-5. Do not use metal conduit with this switch. The broken conduit hole may cause electrical shock hazard.

2-6. Use of a 1/2-14NPT connector may result in damage to a conversion adapter, causing defective seating or a risk of electric shock. Do not use metallic connectors and metallic conduit.
2-7. Be sure to install a cover after the wiring.
Do not put the electric power when opening a cover.
Do not put the electric power when wiring.

3. Mounting
3-1. Be careful not to drop your D4JL, or the switch will not fully exhibit its ability.
3-2. This may cause a risk of personal injury.
Extra care must be taken not to drop this product during installation.

3-3. Install operation key so that it will not hit the operator when the door is open. Injury may be caused.
3-4. Do not use the switch as a stopper.
Be sure to install a stopper as shown in the following illustration to prevent the edge of the operation key from inadvertently hitting the switch directly.
Do not apply shock over the shock resistance 1000m/s² on the switch.

4. Others
4-1. Do not disassemble or remodel your D4JL in any case, or the D4JL will not operate normally.
4-2. The durability of the switch is seriously affected by operating conditions. Evaluate the switch under actual working conditions before permanent installation.

4-3. Please mention in machine manufacturer's Instruction.
Manual that the user must not repair nor maintain the switch and must contact machine manufacturer for them.

Precautions for Correct Use
Environment
1-1. The switch is intended for indoor use only.
1-2. Do not use your D4JL outdoor, or the switch will malfunction.
1-3. Do not use your D4JL in the atmosphere of hazardous gases (H2S, SO2, NH3, HNO3, Cl2, etc.) or high temperature and humidity, or it will cause the imperfect closing of the contacts or the breakage thereof stemming from corrosion.

1-4. Do not use the switch under any of the conditions mentioned below.
・ Frequent temperature range.
・ High humidity or dew condensation may be generated.
・ Where the switch is subject to severe vibration.
・ Where the metal dust, oil, or chemical is sprayed inside the door.
・ Where thinner is applied.

2. Storage
Do not keep the switch in dusty, humid place and any place where gas may be present for example H2S, SO2, NH3, HNO3, Cl2.
3. About the Solenoid Lock Type
3-1. In the solenoid lock type, a lock is closed only when the solenoids are energized. A lock may be opened when the passage of an electric current to the solenoids is stopped due to power failure. Do not use the solenoid lock type for the machine in which the inside of the door remains dangerous even after shutdown of the machine.

4. Using the Release Key (See Figure 1)
4-1. The Release Key is used to open a lock in the case of power failure or emergency.
4-2. With the supplied special-purpose tool (special release key), turn the Release Key from the LOCK position to the UNLOCK position to release the lock. This can open the door safely. (For the mechanical lock type only.)
4-3. When the Release Key is in the UNLOCK position during maintenance work, return it to the LOCK position in the case of the machine.
4-4. The set position of the Release Key at the shipping of the switch is as noted below: *D4JL-□□□□A UNLOCK position *D4JL-□□□□G LOCK position
4-5. While the Release Key is in the UNLOCK position, a lock is not closed and a machine is not activated even when the door is closed in the course of preliminary adjustment work performed inside a large machine or a depressing type machine.
4-6. Do not use the Release Key when starting or stopping the machine.
4-7. The releasing of the auxiliary lock must be handled by an authorized person.
4-8. Do not apply an excessive force of (1N·m or more) to the threaded portion of the Release Key. The Release Key may be damaged to the extent that it no longer becomes operational.

4-9. To prevent the release key from being used by unauthorized personnel, set it to LOCK and seal it with sealing wax. After the release key operation should be restored to its sealed before restart
5. Using the Escape Release Button (See Figure 2)
5-1. The Escape Release Button is used for emergency escape in the case where the door is locked by a third person and workers are confined in the work area (or the dangerous area).
5-2. Pressing the Escape Release Button will release the lock of the door.
5-3. Return the depressed Escape Release Button to its original position after use. While the Escape Release Button is depressed, a lock is not closed and a machine is not activated even when the door is closed.
5-4. Install the Escape Release Button to ensure that a worker can operate it from inside the work area (or the dangerous area).

6. Installing the Cover
6-1. Turn the Release Key to the LOCK position when closing the cover.
6-2. Confirm that the seal rubber has no abnormality and its use position after use. If the seal rubber is displaced or floated, or if foreign matters adhere to the seal rubber, the seal rubber will lose its sealing capability.
6-3. Do not use any screw other than correct one, or the sealing capability of the seal rubber will deteriorate.
7. About the Hinge Type Door
7-1. A door is mounted near a hinge, excessive load may be imposed beyond a force acting on the lock portion of this Escape Release Button. This may result in damage to the lock mechanism. Mount it to a position near a handle.

安全上の要点
設置環境
・爆発性ガス、引火性ガスなどの雰囲気中では使用しないでください。

・油中、水中での使用や常時水、油がかかる環境では使用しないでください。内部に水や油が浸入する恐れがあります。(本スイッチの保護構造IP67とは、一定時間水中に放置した後の水の浸入を確認するものです)

・スイッチ本体については、埃や水などの浸入から保護されていますが、ヘッド部の操作キー挿入口には異物が入らないようにしてください。早期摩耗、破損などの原因となります。

配線
・回路の短絡によるスイッチの破損を防ぐため、定格電流の1.5〜2倍の遮断電流値のヒューズをスイッチと直列に接続してください。

EI規格定格で使用の場合は、IEC60269適合の10Aヒューズ 形gIあるいは形gGをご使用ください。

・一般負荷(AC125V、3A)の開閉は、2回路以上同時に行わないでください。絶縁機能は低下する恐れがあります。

・負荷電流は定格値以下でご使用ください。

・金属コネクタの使用時は、ねじ部長さが9mm以下のコネクタを使用してください。感電の恐れがあります。

・金属配管は使用しないでください。コンジツト口の破損によりシール不良、および感電の恐れがあります。

1/2-14NPTコネクタをご使用の場合は、金属コネクタ、金属配管を使用しないでください。変換アダプタの破損によりシール不良、および感電の恐れがあります。

配線作業後は必ずカバーを取付けてご使用ください。また、カバーを開けた状態で設置しないでください。感電の恐れがあります。

配線作業
・製品を落下させないでください。スイッチ機能が十分に発揮されないことがあります。

・製品を落下させないようご注意ください。

・操作キーはア閉閉時に身体へ接触しない箇所へ取付けてください。傷害の恐れがあります。

・本体をストッパーとして使用しないでください。

・操作キーのツバがヘッド部に当たらないように、図に示すように必ずストッパーを設置してください。

・本体に耐久衝撃 1000m/s² を超える衝撃を加えないでください。

その他
・常動作を損なう恐れがありますので、いかなる場合でも製品の分解・改造は行わないでください。

・スイッチの耐久性は開閉条件により大きく異なります。使用にあたっては必ず実使用条件にて実機確認を行い、性能上問題のない開閉回数にてご使用ください。

・保守・修理の際には設備使用者ご自身での保守・修理は行わず、設備(機械)メーカーへご連絡(相談)ください。

使用上の注意
使用環境について
・このスイッチは屋内仕様です。

・屋外で使った場合、スイッチ故障の原因となります。

・悪性ガス(H2S、SO2、NH3、HNO3、Cl2)などや高温高湿の雰囲気は接触不良や腐食による破損などを生じる原因となるので使用しないでください。

・下記的环境下では使用しないでください。

・ 温度変化の激しい場所

・ 湿度が高く、結露が生じる恐れのある場所

・ 振動の激しい場所

・ 防護扉内側の切粉、加工屑、油、薬品のかかる場所

・ 溶剤・シンナーなどの溶剤がかかる場所

スイッチの保管について
・スイッチを保管する場合は、悪性ガス(H2S、SO2、NH3、HNO3、Cl2)などや塵埃、高温高湿を避けてください。

ソレノイドロックタイプについて
・ソレノイドロックタイプは、ソレノイド通電時しかロックがかかりますので、急な停電により、ソレノイドへの通電がなくなると、ロックが解除となります。従って機械停止後も扉内部が危険状態を維持するような機械にはソレノイドロックタイプは使用しないでください。

リリースキーについて(図1参照)
・停電時あるいは緊急時にロックを解除する場合に用います。

・同封の専用ツール(特殊リリースキー)を用いて、LOCK位置からUNLOCK位置にするロックが解除して安全扉を開けることができます。(メカニカルロックタイプのみ)

・保守などで UNLOCK 位置に変更した後は、ご使用前に必ず LOCK 位置にしてください。

・出荷時のリリースキー設定位置は、D4JL-□□□□Aは UNLOCK 位置、D4JL-□□□□Gは LOCK 位置となります。

・UNLOCK 位置の状態では、大型マシン・踏み込み型マシンなどでの予備調整作業中に扉が閉いても、ロックがかからずマシンも起動しません。

・このリリースキーを、マシンの停止補助用に使用しないでください。

・リリースキーによる補助ロック解除は責任者のみが行ってください。

・リリースキーのねじ部に過度(1N・m以上)の力を加えないでください。

・リリースキーが破損し、操作できなくなる恐れがあります。

・不特定な人による容易なリリースキーによるロック解除を避けるため、リリースキーは LOCK 状態にして、シールワックス(ろう付け)などを施し、封印してください。リリースキーの操作後は、スイッチの操作を再開する前に、その封印を復旧してください。

脱出リリースボタンについて(図2参照)
・作業者が作業エリア(危険エリア)内で第三者に扉をロックされて閉じ込められた際の緊急脱出に用います。

・脱出リリースボタンを押すと扉のロックが解除されます。

・脱出リリースボタンを押す後は、ボタンを引き出し、元の状態に戻してください。

・ボタンが押し込まれた状態では、扉が開いても、ロックがかからずマシンも起動しません。

脱出リリースボタンは作業者が作業エリア(危険エリア)から操作できるよう設置してください。

カバーの取付について
・カバーを開閉する際には、リリースキーを LOCK 位置にしてください。

・シールゴムのズレや浮き、及び異物の付着があるとシール性を損ないます。異常のないことを確認してご使用ください。

・正味のねじ以外では使用しないでください。シール性が低下する恐れがあります。

ヒンジ形扉開閉について
・ヒンジに近い位置に取付けると、製品本体のロック部に操作した力以上荷重が加えられ、ロック機能の破損の原因となります。取手に近い位置に取付けてください。

取付方法
・適正締付トルク
・ねじのゆるみは早期故障の原因となりますので、各部の適正締付トルクにて締付けてください。

Table with 2 columns: 締付トルク, ねじ径

Table with 2 columns: ねじ径, カバー取付ねじ

Table with 2 columns: ねじ径, 操作キー取付ねじ

Table with 2 columns: ねじ径, 本体取付ねじ

Table with 2 columns: ねじ径, ケーブルグラント

Table with 2 columns: ねじ径, キャップスクリュー

WICHTIGE SICHERHEITSHINWEISE

Definition der Sicherheitsinformationen

VORSICHT Weist auf eine mögliche Gefährdungssituation hin, die bei Missachtung kleine, mittelschwere Verletzungen oder Sachschäden hervorrufen kann.

Sicherheitsinformationen

GEFAHR

Überprüfen Sie stets die Funktion der Sicherheitsvorrichtungen bevor Sie das System in Betrieb nehmen. Wird diese Überprüfung nicht durchgeführt, besteht die Gefahr, dass die Sicherheitsvorrichtung nicht wie erwartet arbeitet, wenn die Verletzung der Funktionsanforderungen nicht erfüllt ist. In der Folge kann das Steuerungssystem selbst durch seinen Betrieb möglicherweise eine Gefährdung für was auch immer verursachen und zu Toten führen können.

Achten Sie stets darauf, dass die Freigabe der Stellung "LOCK" (Sperre) des Systems im Betrieb ist. Wenn die Freigabe der Stellung "UNLOCK" (Freigabe) erfolgt, wird die elektrische Verriegelungsfunktion nicht, und das System setzt sich in Betrieb. Möglicherweise ist eine Gefährdung vorliegt, wenn die Verriegelungsdrehmomente nicht beachtet werden. Überprüfen Sie die Antriebskräfte und die Verriegelungsfunktion, um die Verriegelungsfunktion zu überprüfen, bevor Sie die Verriegelung einrichten.

Wenden Sie keine Kraft an, die das Produkt in eine gefährliche Situation versetzt. Andernfalls besteht die Gefahr einer Beschädigung des Verriegelungsmechanismus und das System setzt sich in Betrieb. Möglicherweise ist eine Gefährdung vorliegt, wenn die Verriegelungsdrehmomente nicht beachtet werden. Überprüfen Sie die Antriebskräfte und die Verriegelungsfunktion, um die Verriegelungsfunktion zu überprüfen, bevor Sie die Verriegelung einrichten.

VORSICHT

"Serie-Gebäudebetriebsmittel dürfen nicht für andere Zwecke verwendet werden, die nicht in den technischen Unterlagen spezifiziert sind."

Sicherheitsmaßnahmen

- Vorsichtsmaßnahmen für den sicheren Gebrauch
- Es besteht Verletzungsgefahr. Das Produkt beim Anbringen nicht fallen lassen.
- Lassen Sie das Produkt auf keinen Fall fallen, sonst kann es zu Funktionsstörungen des Schalters kommen.
- Demontieren Sie das Produkt auf keinen Fall oder lassen Sie es um. Hierdurch kann es zu Funktionsstörungen kommen.
- Verwenden Sie den Schalter nicht an Orten, wo explosive, entzündliche oder andere schädliche Gase vorhanden sein können.
- Installieren Sie den Betätiger, so dass er das Bedienpersonal nicht berühren kann, während die Tür geöffnet oder geschlossen wird.
- Dadurch können Verletzungen hervorgerufen werden.
- Verwenden Sie das Produkt nicht in Wasser, in Öl oder an Orten, wo es mit Wasser oder Öl in Berührung kommen kann. Wasser oder Öl können in das Produkt eindringen.
- Der Schalter unterliegt der Schutzart IP67, was bedeutet, dass er für einen bestimmten Zeitraum wasserdicht geblieben ist, nachdem er ins Wasser gelegt wurde.
- Im Fall der Nutzung von Metallverbindungsstücken darf die Gewindelänge 9mm nicht überschreiten.
- Wird ein I2-14 NPT-Stecker verwendet, kann es bei Beschädigung des Adapters zu einer Verschlechterung der Schließeigenschaften und zu Stromschlag kommen. Bitte verwenden Sie keine Metallstecker oder -rohre.
- Obwohl das Schaltergehäuse gegen das Eindringen von Staub oder Wasser geschützt ist, vermeiden Sie das Fremdkörper durch die Betätigeröffnung eindringen.
- Andernfalls kann es innerhalb kurzer Zeit zu starkem Verschleiß oder Ausfall kommen.
- Schalten Sie die Stromversorgung nicht ein, während Sie die Verdrählung vornehmen.
- Achten Sie unbedingt darauf, nach der Verdrählung die Abdeckung wieder zu schließen. Schalten Sie die Stromversorgung nicht ein, wenn Sie die Abdeckung öffnen. Es besteht die Gefahr eines elektrischen Schlags.
- Um den Schalter vor Kurzschluss zu schützen, muss eine Sicherung vorgeschaltet werden. Die Sicherung muss auf das 1,5 bis 2-fache des Nennstroms dimensioniert werden. Bei Verwendung eines Schalters mit nach EN-Normen; benutzen Sie bitte eine 10A Sicherung der Charakteristik gI oder gG (IEC60269).
- Beim Schalten allgemeiner elektrischer Lasten (125V Wechselstrom/3A), betätigen Sie keine zwei oder mehr Stromkreise gleichzeitig. Andernfalls kann sich die Isolerwirkung verschlechtern.
- Die Lebensdauer des Schalters wird in erheblichem Maße von den Betriebsbedingungen beeinflusst. Prüfen Sie daher den Schalter unter tatsächlichen Betriebsbedingungen und halten Sie die vorgeschriebene Häufigkeit der Schaltzyklen ein.
- Wartung bzw. Instandsetzung des Schalters dürfen nicht vom Anwender vorgenommen werden.
- Wenden Sie sich in diesem Fall an den Hersteller. Setzen Sie das Produkt keinen Stellen jenseits seiner Schlagfestigkeit von 1000 m/s² aus.

■ Technische Daten

Elektrische Daten	: AC-15 3A/120VAC / DC-13 0,55A/125VDC NEMA B150, Q150
Zwangsoffnungskraft	: min. 60N
Zwangsoffnungsweg	: min. 15mm
Geeignete Betriebsgeschwindigkeit	: 0,05 bis 0,5 m/s
Max. Betriebsfrequenz	: 30 Zyklen/min
Kurzschlusschutz	: 10A Sicherung, gI oder gG (IEC60269)
Nennspannung (Uimp)	: 4kV (Zwischen Anschlüssen unterschiedlicher Polarität)
Schutzartklasse	: IP67 (EN60947-5-1), TYPE 4X INDOOR USE ONLY (UL, CSA)
Umgebungstemperatur	: -10°C bis +55 °C (ohne Vereisung)
Nennspannung	: Magnetspule 24VDC Warnleuchte 24VDC
Verdrahtung	: AWG 22 bis 18 (0,3 bis 0,75 mm²)

REGLES DE SECURITE

Signification des indications de avertissements

PRECAUTION Une utilisation incorrecte de ce produit pourrait donner lieu à des blessures de moindre ou moyenne gravité et à des dégâts matériels.

Avertissements

ANGER

Vérifier la présence et le bon état des dispositifs de sécurité du système avant de procéder à l'installation et de vérifier les conditions de montage et de montage des composants. Ne pas utiliser le produit dans un environnement à gaz explosif, gaz inflammable etc.

Assurez-vous en permanence de la déconnexion du système "VERROUILLAGE" (LOCK) avant de procéder au montage du système. Si la déconnexion n'est pas effectuée, le système peut continuer à fonctionner et à causer des blessures ou des dommages matériels.

Ne pas appliquer une force excessive à la force d'insertion et à la force de retrait. Une force excessive peut endommager le système et causer des blessures ou des dommages matériels.

PRECAUTION

Ce produit peut donner lieu à des blessures de moindre ou moyenne gravité et à des dégâts matériels.

PRECAUTION D'USAGE POUR LA SECURITE

- Il se peut que le commutateur ne fonctionne pas correctement. Ne faites pas tomber le produit.
- Risque de blessure. Lors de l'installation de l'appareil, veillez à ce qu'il ne tombe pas.
- Ne démontez ou traquez ce produit en aucun cas. Cela pourrait empêcher son fonctionnement normal.
- Ne pas utiliser ce produit dans un environnement à gaz explosif, gaz inflammable etc.
- Installer le clé d'actionnement de sorte qu'elle ne vienne pas au contact de l'opérateur à l'ouverture/fermeture de la porte. Des blessures sont possibles.
- Ne pas utiliser le produit dans de l'huile ou de l'eau, ou dans un emplacement où il pourrait à tout moment être soumis à des écoulements d'huile ou d'eau. De l'eau ou de l'huile pourrait pénétrer à l'intérieur.
- Le dispositif de protection IP67 contre la pénétration de l'eau se commutateur est laissé dans l'eau pendant un certain temps.
- Le commutateur lui-même est protégé contre la pénétration de la poussière ou de l'eau, mais éviter la pénétration de matières étrangères dans le trou d'insertion de la clé d'actionnement de la tête. Cela pourrait provoquer une usure précoce ou des dégâts.
- Lorsqu'un connecteur métallique est utilisé, ce dernier doit avoir une partie fileté d'une longueur inférieure ou égale à 9 mm.
- Lors de l'insertion du connecteur 1/2-14 NPT, il y a un risque de mauvaise sésation qui peut survenir à la suite de la rupture de l'adaptateur, ainsi que du choc électrique. Ne pas utiliser de connecteurs ni de câbles métalliques.
- Ne pas mettre sous tension lors du câblage. Une électrocution serait possible.
- Ne pas oublier d'installer le couvercle après le câblage. Ne pas mettre sous tension quand le couvercle est ouvert. Une électrocution serait possible.
- Connecter le commutateur en série à un fusible à courant de rupture de 1,5 à 2 fois supérieur au courant nominal pour éviter les dommages dus à un court-circuit du circuit.
- En cas d'utilisation à un courant nominal approuvé EN, utiliser un fusible de 10A, de type gI ou gG conforme à IEC60269.
- Pour la commutation sous charge ordinaire (secteur 125VAC, 3A), ne pas utiliser plus de 2 circuits en même temps. L'isolation risquerait de se dégrader.
- La durabilité du commutateur est fortement influencée par les conditions de fonctionnement. Vérifier le commutateur dans les conditions de fonctionnement réelles et l'utiliser dans des limites ne posant pas de problèmes.
- L'utilisateur doit faire appel à un agent de service du fabricant pour la réparation et l'entretien, et ne pas les effectuer lui-même.
- Ne pas utiliser ce commutateur comme retenue. Ne pas installer de retenue, comme indiqué sur l'illustration, pour que la partie collier de la clé d'actionnement ne heurte pas la tête.
- N'imposez pas de choix supérieurs à la résistance de 1000 m/s² sur l'interrupteur.

■ Caractéristiques Techniques

Caractéristiques électriques	: AC-15 3A/120VAC / DC-13 0,55A/125VDC NEMA B150, Q150
Force d'ouverture positive	: 60N min.
Course d'ouverture positive	: 15mm min.
Vitesse de fonctionnement correcte	: 0,05 à 0,5 m/s
Fréquence de fonctionnement	: 30 opérations / min
Dispositif de protection contre les courts-circuits	: fusible de 10A, de type gI ou gG conforme à IEC60269
Rigidité diélectrique (Uimp)	: 4kV (Entre bornes de polarités différentes)
Indice de protection	: IP67 (EN60947-5-1), TYPE 4X INDOOR USE ONLY (UL, CSA)
Température ambiante	: en fonctionnement de -10°C à +55°C, sans givre
Tension nominale	: Solénoïde 24VDC Voyant 24VDC
Câblage	: AWG 22 à 18 (0,3 à 0,75 mm²)

Anzugsdrehmoment Couple de serrage approprié Coppia di serraggio adeguata Par de apriete apropiado	
Klemmschraube Vis de borne Vite terminale Tornillo del terminal	0,6 – 0,8 N·m
Befestigungsschraube für die Abdeckung Vis de montage du capot Vite di bloccaggio del coperchio Tornillo de montaje de la cubierta	0,7 – 0,9 N·m
Befestigungsschraube für die Betätiger Vis de montage de la clé Vite di bloccaggio della chiave operativa Tornillo de montaje del pasador de operación	2,4 – 2,8 N·m
Befestigungsschraube für das Gehäuse Vis de montage du corps Vite di bloccaggio del corpo Tornillo de montaje del final de camera	3,2 – 3,8 N·m
Leitungseinführung für Verschraubung Ouverture du conduit Vite di apertura del connettore del condotto Conector en el tornillo de apertura del conducto	1,8 – 2,2 N·m (G1/2, Pg13,5, M20) 1,4 – 1,8 N·m (1/2-14NPT)
Kappenschraube Vis du capot de protection Vite prigioniera Tornillo de cabezal	1,3 – 1,7 N·m

Befestigung der Tür
Die geschlossene Tür muss mit einem Riegel o.ä. gesichert werden, so dass der Betätiger innerhalb der definierten Betätigungszone bleibt.

Fixation de la porte
La porte fermée doit être bloquée par un crochet ou équivalent de manière à ce que la clé se trouve à l'intérieur de la zone de réglage.

Posizione della porta
Assicurarsi che, quando la porta si trova in posizione chiusa, la chiave operativa sia all'interno dell'area di regolazione.

Fijación de la puerta
La puerta cerrada debe asegurarse con un cierre o similar de tal forma que el pasador de operación quede dentro de la zona de ajuste.

Abmessungen
Dimensions de montage
Dimensioni di montaggio
Dimensiones de montaje

Einheit : mm
Unité : mm
Unità : mm
Unidad : mm

Öffnung für den rückseitigen Entriegelungsschalter
Information (φ50)
Orifice du bouton de libération intérieur
Commentaires (φ50)
Foro del pulsante di liberazione posteriore
Riferimento (φ50)
Orificio de botón de desconexión del reverso.
Referencia (φ50)

(Größe der Bohrung zum Anbringen des Schlosses)
(Taille de l'orifice de fixation de l'appareil)
(Dimensione della lavorazione del foro per il montaggio sul corpo)
(Medidas para la elaboración del orificio para el montaje del equipo.)

PRECAUZIONI PER LA SICUREZZA

Significato delle indicazioni di avvertenza

ATTENZIONE Una operazione non corretta può anche causare, data la sua potenziale pericolosità, ferite leggere o di medio grado, oppure danni al materiale.

Indicazione di avvertenza

PERICOLO

Verificare sempre l'integrità e il corretto funzionamento dei dispositivi di sicurezza del sistema prima di procedere all'installazione e di verificare le condizioni di montaggio e di montaggio dei componenti. Non utilizzare il prodotto in un ambiente a gas esplosivo, infiammabile ecc.

Assicurarsi in ogni momento della disconnessione del sistema "VERROUILLAGE" (LOCK) prima di procedere al montaggio del sistema. Se la disconnessione non viene effettuata, il sistema può continuare a funzionare e causare lesioni o danni materiali.

Non applicare una forza eccessiva alla forza di inserimento e alla forza di estrazione. Una forza eccessiva può danneggiare il sistema e causare lesioni o danni materiali.

ATTENZIONE

Non inserire la chiave di azionamento quando la porta di protezione è aperta. L'apparecchio può iniziare a funzionare, causando danni fisici.

Precauzioni per l'utilizzo in condizioni di sicurezza

- Non far cadere il prodotto. Il fincassa potrebbe funzionare non debitamente.
- C'è il rischio di subire danni fisici. Prestare la dovuta attenzione per non far cadere il prodotto nel momento del fissaggio.
- Non effettuare alcuno smontaggio o modifica del prodotto per nessuna ragione. Potrebbe pregiudicare il suo regolare funzionamento.
- Non adoperare il prodotto in ambienti in cui vi sia gas esplosivo o infiammabile.
- Collocare la chiave di azionamento in una zona chiusa. Il rischio di lesioni non può toccare il corpo dell'operatore nel momento dell'apertura e della chiusura della porta di protezione. Essa potrebbe anche causare ferite alle persone.
- Non adoperare il prodotto in acqua od in olio e neppure in ambienti che possono essere sempre bagnati dall'acqua o dall'olio. L'acqua e l'olio possono penetrare all'interno del prodotto. (La struttura protettiva IP67 del fincassa accetta l'infiltrazione di acqua in caso che la permanenza nell'acqua si protrae per un determinato tempo).
- Il fincassa stesso è protetto da penetrazione di polvere o di acqua, pur tuttavia bisogna prestare molta attenzione a che non si infiltrino corpi estranei dentro il foro per l'inserimento della chiave di azionamento della zona della testata. Le infiltrazioni possono essere una delle cause del suo deterioramento prematuro o della sua rottura.
- Qualora si adopera un connettore metallico, utilizzarlo solo in cui vite non superi la lunghezza di mm 9.
- L'uso di un connettore 1/2-14 NPT può causare danni all'adattatore di conversione rendendo le guarnizioni difettose e generando il rischio di scariche elettriche. Non utilizzare né connettori metallici, né tubi metallici.
- Non dare alimentazione durante il collegamento dei fili. Ci potrebbe essere il rischio di scosse elettriche.
- Dopo aver terminato il lavoro di collegamento dei fili, montare sempre la copertura prima di procedere al suo utilizzo. Non attaccare la tensione con la copertura aperta. Ci potrebbe essere il rischio di scosse elettriche.
- Evitare che il fincassa si rompa a causa di cortocircuito, inserire, in serie al fincassa, un fusibile con il valore di interruzione di 1,5 a 2 volte più del valore nominale. Nel caso di utilizzo con il valore nominale stabilito da EN, adoperare un fusibile 10A del formato gI oppure gG conforme a IEC60269.
- Non effettuare l'apertura/chiusura con un carico normale (125VAC, 3A) contemporaneamente per 2 circuiti o più. Ci potrebbe essere il rischio di deteriorare la funzione di isolamento.
- La resistenza del fincassa varia con il variare delle condizioni dell'apertura/chiusura. Per procedere al suo regolare utilizzo, provare il prodotto sempre sotto le condizioni di uso reale e adoperare entro un numero di apertura/chiusura che non esca dai parametri funzionali.
- Per quanto riguarda la manutenzione e la riparazione, il prodotto deve essere mantenuto o riparato non direttamente dall'utente ma, contattando il produttore dell'apparecchio (macchina).
- Non adoperare il corpo principale come fermo. Installare assolutamente un fermo, come viene illustrato nel disegno, per evitare che la testa della chiave di azionamento urti contro la zona della testata.
- Non applicare al corpo principale una forza di impatto che superi la relativa resistenza pari a 1000m/s².

■ Caratteristiche Tecniche

Dati elettrici nominali	: AC-15 3A/120VAC / DC-13 0,55A/125VDC NEMA B150, Q150
Forza d'apertura positiva	: 60N min.
Corso d'apertura positiva	: 15mm min.
Velocità di funzionamento adeguata	: 0,05 a 0,5 m/s
Massima frequenza operativa	: 30 cicli / min
Dispositivo di protezione contro i corti circuiti	: fusibile da 10A, tipo gI o gG conforme a IEC60269
Rigidità di dielettrica (Uimp)	: 4kV (Tra terminali di polarità differenti)
Grado di protezione	: IP67 (EN60947-5-1), TYPE 4X INDOOR USE ONLY (UL, CSA)
Temperatura ambiente di funzionamento	: -10°C a +55 °C (in assenza di formazione di ghiaccio)
Tensione nominale	: Solenoide 24VDC Lampadina di indicazione 24VDC
Cablaggio	: Da 22 a 18 AWG (da 0,3 a 0,75 mm²)

Schaltbeispiel (für D4JL-□□□-□□□)
Exemple de connexion des circuits (pour le modèle D4JL-□□□-□□□)
Esempio di collegamento del circuito (caso di D4JL-□□□-□□□)
Ejemplo de conexión del circuito (en el caso de D4JL-□□□-□□□)

Verriegelungsüberwachungsschalter
Interrupteur de contrôle de verrouillage
Interruttore di monitoraggio del bloccaggio
Interruptor del monitor de bloqueo

Türöffnungsprüfschalter
Interrupteur du détecteur d'ouverture/fermeture de porte
Interruttore di rilevamento dell'apertura e della chiusura dello sportello
Interruptor de inspección de apertura y cierre de la puerta.

zum Sicherheitsstromkreis
Vers le circuit de sécurité
Per il circuito di sicurezza
Hacia el circuito de seguridad

zum Regelstromkreis
Vers le circuit de contrôle
Per il circuito di controllo
Hacia el circuito de control

Geeignete Kabelsteckverbindung
Douille utilisée du côté câble
Pressa applicata per il lato del cavo
Casquillo adecuado del lado del cable

Anschlussgehäuse Corps de prise Carpenteria con incasso Caja RECE	1-1318119-4
AMP	1318105-1 (Verknüpf/ Forme de connexion / A forma di catena / En forma de cadena) 1318107-1 (Einzeln/ Forme d'entreposage en vrac / A forma di rosa / En forma suelta)

OBSERVACIONES PARA LA SEGURIDAD

Significado de las indicaciones de advertencia

CUIDADO Este producto, si no es empleado correctamente de acuerdo con las instrucciones dadas, puede causar lesiones leves o medianas o daños físicos.

Indicación de advertencia

PELIGRO

Antes de iniciar el sistema, compruebe siempre el funcionamiento de las características de seguridad. De no hacerlo así, dichas características de seguridad podrían no funcionar correctamente y las condiciones de seguridad no serían adecuadas. No utilizar el producto en un ambiente a gas explosivo, inflamable, etc.

Comprobar siempre que la llave de apertura está puesta en la posición "LOCK" (bloqueo) antes de iniciar el sistema. Si la llave de apertura está puesta en "UNLOCK" (desbloqueo), la característica de bloqueo electrónico no funcionará y el sistema puede seguir operando, por lo que puede producir lesiones o daños materiales.

No aplicar una fuerza que exceda la fuerza máxima de inserción especificada. De hacerlo así, se podría dañar el mecanismo de bloqueo del interruptor y el sistema podría seguir funcionando y producir lesiones o daños materiales. No instalar el componente de bloqueo (por ejemplo un topete) a más del interruptor, o usar un indicador de bloqueo electrónico que no esté especificado en el manual de instrucciones.

CUIDADO

El equipo puede funcionar a temperaturas elevadas. No instale la llave de liberación en la zona de liberación.

Precauciones para uso seguro

- Las funciones del interruptor no pueden desplazarse. No deje caer el producto.
- Existe peligro de sufrir lesiones. Al instalar el producto, tenga mucho cuidado de no dejarlo caer.
- En ningún caso, no desmontar o modificar el producto por ninguna razón. Podría perjudicar el correcto funcionamiento del producto.
- No utilice este producto en un medio ambiente en que se encuentran gases explosivos o inflamables.
- Coloque la llave de operación en un lugar en que ésta no se toque a su cuerpo al abrir la puerta. Si no, esto puede causar daño.
- No utilice este producto dentro del aceite o agua o en un medio ambiente en que constantemente salpica agua o aceite. Hay probabilidad de que el agua o aceite penetre en el interior del producto. (La estructura de protección IP67 de este interruptor es para confirmar la penetración del agua después de dejarlo en el agua por un lapso de tiempo determinado).
- El propio interruptor está protegido contra la penetración de polvos o agua, pero tenga cuidado de que no entre materia extraña a través de la apertura para insertar la llave de operación que se encuentra en la parte de la cabeza. Esto puede ser causa de desgaste prematuro o rompimiento.
- Cuando utilice conector de metal, que sea un tornillo más corto que 9 mm.
- En caso de usar el conector 1/2-14NPT, hay posibilidad de sellado defectuoso o sacudida eléctrica por la ruptura del adaptador de conversión.
- No aplique la electricidad mientras se efectúan trabajos de conexiones. Hay probabilidad de electrocución.
- Después del trabajo de conexiones, instale sin falta la cubierta. También no aplique la electricidad en el estado en que la cubierta está abierta. Hay probabilidad de electrocución.
- Con el fin de evitar deterioro del interruptor por el cortocircuito del circuito, conecte un fusible con una capacidad de ruptura 1,5 a 2 veces la corriente de régimen, en serie con el interruptor.
- En caso de uso bajo el régimen EN, utilice un gI o un gG con la forma del fusible de 10A (IEC60269).
- En cuanto a la apertura y cierre de una carga general (125VAC, 3A), no realice la apertura o cierre simultáneamente en más de 2 circuitos. Esto puede deteriorar el comportamiento de aislamiento.
- La durabilidad del interruptor depende grandemente de las condiciones de apertura y cierre. Antes de usar el interruptor, confirme la seguridad del interruptor instalado en la máquina real para verificar el número de veces tanto de la apertura como el cierre.
- El mantenimiento y la reparación, no deberán efectuarse por el propio usuario de las instalaciones, sino póngase en contacto (consulta) con el fabricante de las instalaciones (máquinas).
- No utilice este producto como un refén. Instale sin falta un refén tal como se muestra en la figura de modo que el borde de la llave de operación no se contacte con la cabeza.
- No aplique sobre el interruptor impactos superiores a su resistencia al choque de 1000m/s².

■ Características Técnicas

Valores eléctricos	: AC-15 3A/120VAC / DC-13 0,55A/125VDC NEMA B150, Q150
Fuerza de apertura positiva	: 60N min.
Carrera de apertura positiva	: 15mm min.
Velocidad de operación adecuada	: 0,05 a 0,5 m/s
Frecuencia de operación máxima	: 30 ciclos / min
Dispositivo de protección contra cortocircuitos	: Fusible de 10A, tipo gI o gG (IEC60269)
Impulso de tensión no disruptiva (Uimp)	: 4kV (Entre los terminales de polaridad distinta)
Grado de protección	: IP67 (EN60947-5-1), TYPE 4X INDOOR USE ONLY (UL, CSA)
Temperatura ambiente de funcionamiento	: -10°C a +55 °C (sin hielo)
Tensión de régimen	: Solenoide 24VDC Lámpara indicadora 24VDC
Cableado	: AWG 22 a 18 (0,3 a 0,75 mm²)

Entriegelungsschlüssel
Das Gewinde des Entriegelungsschlüssels nicht übermäßig belasten (Anzugsmoment über 1 Nm).
Vor Schließen der Abdeckklappe bitte den Entriegelungsschlüssel in Verriegelungsposition bringen.

Clé de libération
Ne pas appliquer une force excessive (1 Nm ou plus) sur la partie fileté de la clé de libération.
Lorsque vous fermez le couvercle, positionnez la clé de libération sur la position LOCK.

In relazione alla chiave di liberazione
Non esercitare una forza eccessiva (pari o superiore a 1N · m) sulla vite della chiave di liberazione.
Quando si chiude la copertura, portare la chiave di liberazione nella posizione di bloccaggio.

Con relación a la llave de liberación
No aplique excesiva fuerza (más de 1N.m) en la parte del tornillo de la llave de desconexión.
Cuando cierre la cubierta, ponga en LOCK la llave de desconexión.

Rückseitiger Entriegelungsschalter
Bei Betätigung des rückseitigen Entriegelungsschalters wird die Tür entriegelt.
Bouton de libération intérieur
Le verrou de la porte se libère sur pression du bouton de libération intérieur.

In relazione alla chiave di liberazione posteriore
Premendo il pulsante di liberazione posteriore il bloccaggio dello sportello viene liberato.

Con relación al botón de desconexión del reverso.
Si se presiona el botón de desconexión del reverso, el bloqueo de la puerta quedará cancelada.

Entriegelung
Déverrouillage
Liberazione del bloccaggio
Cancelación de bloqueo